

## 8-4-7 河川計画専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

専門委員会を計9回（6～12月、4～5月）開催し、河川講習会、河川見学会および若手技術者向け勉強会の企画・運営について審議した。

#### (2) 河川講習会の実施

第26回河川講習会を実施した。講習会のテーマは「雨と氾濫を予測する～水防災技術の最前線～」と題し、京都大学防災研究所の佐山先生、日本気象協会防災ソリューション事業部の山路部長、国土交通省水管理・国土保全局の宮本企画専門官（大阪会場）および秋葉課長補佐（東京会場）にご講演いただいた。

##### a) 開催日時と場所

- ① 東京会場:2018年1月16日(火)発明会館
- ② 大阪会場:2017年10月31日(火)建設交流館

##### b) 講演テーマと講演者

##### ① 特別講演：

降雨流出と洪水氾濫の流域一体解析  
～RRIモデルを事例に～

京都大学防災研究所 社会防災研究部門  
准教授 佐山 敬洋

##### ② 大雨監視、降雨予測の最新技術について

一般財団法人 日本気象協会  
防災ソリューション事業部  
部長 山路昭彦

##### ③ 水防災行政に関する最近の動向について

国土交通省 水管理・国土保全局  
企画専門官 宮本 健也（大阪会場）  
課長補佐 秋葉 雅章（東京会場）

##### c) 参加者：大阪137名、東京112名、合計249名であった。（前年は314名）



図1 参加者の参加回数  
（東京会場アンケート結果）

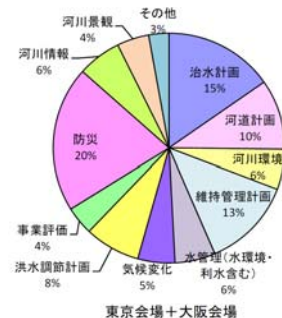


図2 今後希望するテーマ  
（東京・大阪会場アンケート結果）

#### (3) 河川見学会の実施

建設コンサルタンツ協会会員を対象に自然再生や水辺環境整備の現場見学会を実施した（参加者21名）。見学会では、沼津河川国道事務所杉澤専門官およびNPO法人グラウンドワーク三島 渡辺専務理事に現場を案内して頂いた。また、現場見学の後、三島市民文化会館にて見学会参加者による意見交換会（テーマ「建設コンサルタント、一個人としてかわ・まちづくり、地域魅力の向上に関われること」）を開催した。

##### a) 開催日とテーマ

- ① 開催日:2017年10月27日(金)10:30～16:15
- ② テーマ:『柿田川と源兵衛川にみる、美しい自然に囲まれた清らかな流れと人、まちとの関わり』

##### b) 見学場所

柿田川湧水群、他源兵衛川、楽寿園庭園

#### (4) 研修会への講師の派遣

全国建設研修センターが開催する以下の研修会へ講師を派遣した。

- a) 地域の浸水対策研修（5月）
- b) 河川整備計画・事業評価研修（8月）

#### (5) 国土交通省との意見交換について

水管理・国土保全局治水課および河川環境課からの要請により2017年4月10日(月)に「ダム再生」に関する意見交換会にダム・発電専門委員会と合同で参加した。

#### (6) CommonMP推進委員会への参加

次の幹事会および推進委員会へ河川計画専門委員長が参加し、主にCommonMPの普及活動のあり方や他のプログラムとのラッピングについて議論した。

- a) 第17回幹事会：平成29年10月11日
- b) 第9回推進委員会：平成30年3月8日

場所：中央大学後楽園キャンパス

### 2. 次年度の活動について

会員からの開催要望が多い河川講習会や対外的活動（講師派遣、意見交換会等）は継続するが、その他は中期的な視点で取り組むべき事項について委員会で議論する。

（河川計画専門委員会委員長 天野 光歩）